

真宗寺 川崎市麻生区王禅寺 1241

昭和 55 年に創建した寺院 本尊は阿弥陀如来像で浄土真宗本願寺派。

近くを散歩していると突然現れた参道両側にびっしりとお地藏様が並んでいた。なんともいえない雰囲気がありますが、途中の道に後醍醐天皇により楠木正成に下賜された石灯籠があり、天皇家の象徴でもある菊水紋が掘られていた。

さらに進むと突如正面に現れる巨大な宮殿風の建物！これこそが「真宗寺」の本堂で、日本のお寺には珍しい洋風形状！本堂の入口の両脇には、ライオン像が置かれています。まるで本堂前で見張り番をしているかのよう！なお、このライオン像は、イギリスのトラファルガ広場にある像と同じもので、ネルソン提督がトラファルガ海戦に勝利した記念に造られました。

黄金色に輝く「川崎大仏」はまるで墓所を見守るかのように、墓所最上部に立っています。

歴史は感じられないがお寺様にしては近代的なお寺だと感じた一日でした。



参道両側にびっしりとお地藏さんが



後醍醐天皇からの石灯籠



本殿は洋風で狛犬ではなくライオンが



大きな黄金の大仏